

鳥取大学附属図書館

学生とつくる 学生のための 大学図書館

鳥取大学附属図書館では、学生協働団体「学生図書館ワーキンググループ（学生図書館WG）」の学生が主体的に活動し、学生が親しみを持って利用できる図書館づくりを行っています。近年は、学生同士のつながりを通じた他団体との協力体制も生まれ、従来の活動内容からの発展も見られます。

また、学生からの要望をもとに、鳥取県立図書館の見学会を実施したほか、モバイルバッテリーの貸出を開始するなど、学生と職員が協議・調整を重ねることで、具体的なサービスの改善にもつなげています。

学生図書館ワーキンググループ

学生メンバー31名（令和6年度は33名）で活動しています。月1回程度の頻度でハイブリッド形式の定例会を開き、図書館で購入する図書の選書や、イベントの企画・運営をしています。各種資料はGoogle Drive上で共有して作成するほか、過去資料を参照できるよう保存を行い、次年度以降の活動につなげています。



昨年度は「大学図書館学生協働交流シンポジウム」をハイブリッド形式で開催しました。企画作成や当日の司会・進行役も学生が主体となっており、全国各地の学生と情報交換をしました。また、例年ビブリオバトルの予選会や、オープンキャンパス・大学祭でクイズラリーを実施しています。クイズラリーは、昨年度より作成したクイズの監修を学内の他団体「クイズ研究会」に依頼するなど、学生同士のつながりも広がっています。



毎年4～5月に図書館ツアーを実施しています。新入生だけでなく在学生の参加もあります。内容も学生図書館WGの学生が作成するため、学生視点から図書館の活用方法を紹介する機会になっています。また、令和3年度から学内の他団体「G-frenz」の依頼を受け、日本語と英語の両方で留学生向けの図書館ツアーを共同開催しており、留学生が図書館に来館するきっかけにもなっています。



定期選書の他、書店に出向き本を選ぶブックハンティングを行い、学生視点での図書選定を行っています。展示は、定例会で決めたテーマに沿って、月1回程度行っています。どの本が入っているか借りてみないとわからない福袋展示など、ユニークな展示も利用者から人気が高いです。



学生図書館WGキャラクター トトリ

県内図書館との連携

昨年度、学生図書館WGの学生の希望を受け、鳥取県立図書館職員の案内による見学会を実施しました。本学学生は県内図書館の所蔵資料を県内図書館ネットワークを通じて無料で取寄せ・貸出をすることができますが、この会では実際に連携している図書館に足を運び、館内の様子や展示・書庫を見学する機会となりました。

モバイルバッテリーの貸出

学内の他団体「鳥取大学学生生活動支援会」より図書館内の閲覧席へのコンセント増設の要望と寄付の申し出がありました。学生と職員で協議し、コンセントの増設に代えて、モバイルバッテリーを寄贈していただき、貸出を開始しました。



学生図書館WGキャラクター アヤガクレ